

簡易版 TP (ティーチング・ポートフォリオ)

氏名	笹井 香
所属機関名	教育学部 中等教育学科
職位	准教授
在籍年	5 年

教育の責任

現在の担当科目を「①日本語学に関わる専門科目」、「②教職に関わる科目」、「③書く技術・話す技術に関わる科目」の三つに分類すると、以下のように分類できる。(根拠1)

- ①日本語学に関わる専門科目：「国語科内容論 A」「現代人とことば」「日本語史」「日本語学概論」「探究ゼミⅢ (日本語学)」「教育研究ゼミナール」「対照言語論」「日本語音韻論と実践」「日本語文法」
- ②教職に関わる科目：「教職実践演習 (中・高)」「教育実習事前・事後指導」「国語科教育の内容と実践」「教育現場観察実習」
- ※科目ではないが「教員採用試験対策講座」「面接指導」も担当している。
- ③書く技術・話す技術に関わる科目：「日本語表現」

教育の理念

私の教育の理念を具体的に表すと次のようになる。

(1) 「三つの能力」の育成

- ・「根拠に基づいて論理的に考える能力」、「文章能力」、「口頭での説明能力」を育成する。

(2) 「研究の成果の教授」

- ・専門分野である日本語学の知識を分かりやすく習得できる授業を行う。
- ・研究活動によって得た最新の学術的知識を学生に還元する。

(3) 「就職活動と就職後の活躍に向けてのサポート」

- ・(1) (2) の育成によってサポートする。
- ・「教員採用試験対策講座」、「面接練習」の実施。

教育の方法・方針

(1) 「三つの能力 (「根拠に基づいて論理的に考える能力」、「文章能力」、「口頭での説明能力」) の育成

- ・時事問題や社会問題を取り上げ、要約、説明、意見文を作成することで、必要に応じて根拠を挙げつつわかりやすい文章を書く訓練を行う。(根拠2)
- ・論文執筆の過程を「テーマの決定」～「結論の執筆」のように分けて提示し、前から順番に執筆していけば論文が完成するように工夫している。各過程についてのポイントを記した教材に基づいて論文を作成させるため、論文の構成、つまり、論理的な論の組み立てを意識できるようにする。また、アカデミックな論文に独特の表現や語彙を提示し、練習問題も作成しているため、論文らしい表現を容易に習得できる。(根拠3)

(2) 「研究の成果の教授」

- ・専門分野である日本語学の知識を分かりやすく習得できる授業を行う。一方的な講義にはせ

ず、適宜身近な現象をヒントに学生自らが考えて答えを導き出すようにしている。また、「教育研究ゼミナール」や「探求ゼミⅢ（日本語学）」では、研究活動によって得た最新の学術的知識を学生に還元することを意識している。（根拠4）

（3）「就職活動と就職後の活躍に向けてのサポート」

すべての授業で念頭に置いているのは、学生の就職活動や社会人としての活躍の一助となる授業にすることである。そのために以下のような方法をとっている。

- ・（1）で述べた方法によって、社会人としての活躍を支える土台となる「三つの能力」（「根拠に基づいて論理的に考える能力」、「文章能力」、「口頭での説明能力」）を育成している。（根拠2、根拠3）
- ・（2）で述べた方法によって、国語教員として必要な学術的の知識を習得させたり、日本語の言語事実を題材に「考える力」を育てたりしている。（根拠4、根拠5、根拠6）
- ・一般企業への就職希望者、教職希望者の両方に対してマンツーマンでの面接指導を行っている。受け答えの内容のみを重視するのではなく、面接の様子を録画し、自分が人からどう見られているかを認識させて改善を促しており成果を上げている。（根拠7）
- ・日本語教師の資格に関わる授業では「日本語教育能力検定試験」受験に対応できるよう、検定対策としても機能するレジュメを作成し、頻出問題なども提示している。（根拠8）

教育の成果

「（1）「三つの能力」の育成」と「（2）研究の成果の教授」の成果

岡山理科大学が実施した「2023 授業アンケート秋2」で「日本語表現」に対するコメントに「文章構成について学ぶことができ、勉強になりました。」などがあった。題材として身近な社会問題を扱ったことや、文章を書くときのコツとして「型」に則って書かせたことなどが、このようなコメントにつながったと考えられる。

今後の目標

研究と教育のバランスをとることを目指す。研究者としての研鑽なくして、大学教員としての成長はありえない。学生への教育の質を維持するためにも、自身の研究を深め、業績をあげたい。

根拠資料

根拠1：2024 年度シラバス／根拠2：「日本語表現」で作成した教材／根拠3：「探究ゼミⅢ（日本語学）」で作成した教材／根拠4：執筆論文／根拠5：共著『時事外来語で日本理解』／根拠6：「日本語史」の授業における論述問題／根拠7：面接練習用に作成したプリント／根拠8：「日本語学概論」レジュメ、「日本語史」レジュメ